

塚本由晴+貝島桃代+玉井洋一/アトリエ・ワン

避難所機能のある「みんなの家」の設計に当たり各地区で意見交換会を行うと、寄合や運動会、BBQや餅つき、大雨や台風時の避難所など地域によって様々な公民館の使われ方があることがわかった。さらに集落の形状の違い、昔から大切にされている祠や樹木、生活基盤となるゴミ収集庫や倉庫があることを敷地から読み取り、建物の架構は同じでも地区ごとの特徴に対応できる形式の建築を考えた。建物は流通木材を使ったシザーストラス形式を用いることで、多くの住民が集まることのできる天井の高い大きな空間と天井の低い小さな空間が隣り合ったワンルームとし、小さな空間の一部に水回りや倉庫を納めた。災害時には炊き出し等ができる広い軒下空間を設え、常時人々の集まりやすい空間とした。

甲佐町麻生原のみんなの家



南阿蘇村立野駅区のみんなの家



大津町上揚のみんなの家



西原村風当のみんなの家



西原村下小森のみんなの家



嘉島町北甘木のみんなの家



嘉島町上六嘉のみんなの家



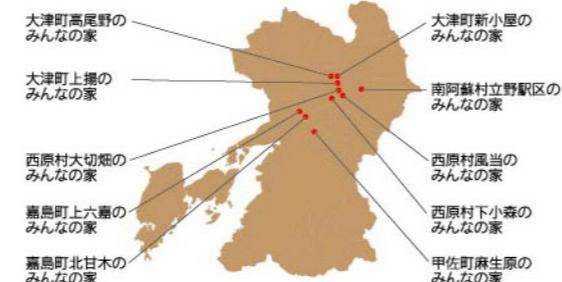
大津町新小屋のみんなの家



大津町高尾野のみんなの家



西原村大切畑のみんなの家



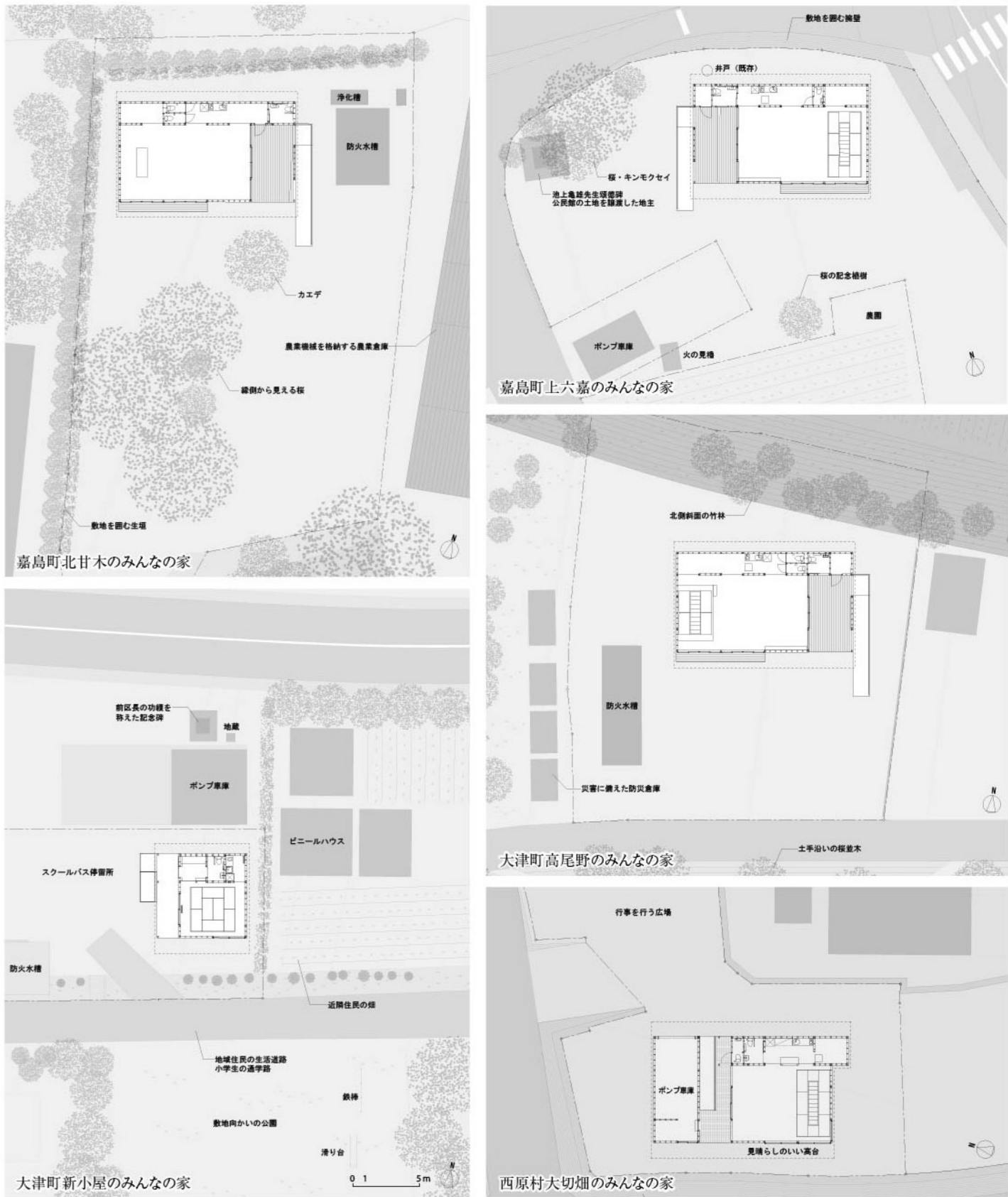
熊本みんなの家 (公民館型)

HOME-FOR-ALL for Permanent Housing in Kumamoto

甚大な被害をもたらした平成28年熊本地震では地域の住民が集う公民館も被災。地区住民は集い、語らう場としての公民館の再建を待ち望んでいた。

このプロジェクトは日本財団から「わかまち基金」の支援を受け、一般財団法人熊本県建築住宅センターとの協働により実現した。住民の方と意見交換を行い、県産木材を使用し、避難所として利用できる防災機能を持つ「みんなの家」として建設された。

大きな被害をもたらした平成28年熊本地震では、地区の方々がこのみんなの家を、自分の家の延長と捉えていたこと。集会だけでなく料理や大切な行事にも使い、さらには掃除や今後の維持管理にまで思いを巡らせる様は、ここが日常に織り込まれていると同時に一人一人が当事者として関わっていることの表れだと感じた。まさに公民館の、大袈裟に言えば公共建築のあるべき姿。こうした地域の方々の姿勢に応えるべく設計は、誰にとっても親しみのある在来木造を基本としながらも、誰の家にもないようなおらかなさと、光や風が抜ける快適な空間を目指した。「人」の字の形をした屋根架構は、文字通り両側から延びる梁が支え合い、屋根の下に、どんな目的にも使える大広間や水回りなどの下屋、そして災害時や用事がない時でも気軽に立ち寄れる大きな軒下や縁側を擁している。この基本形式を踏襲しながら、地区ごとの使い勝手に寄り添い、また敷地の魅力をより出すよう変形して5つのみんなの家をつくった。実現に向けては、施工者の誠実な取り組みはもちろん、家具やファブリック、様々なメーカーの方々の支援が力になった。これは、みんなで作り上げた家でもある。



千葉学/千葉学建築計画事務所

設計過程で特に印象深かったのは、地区の方々がこのみんなの家を、自分の家の延長と捉えていたこと。集会だけでなく料理や大切な行事にも使い、さらには掃除や今後の維持管理にまで思いを巡らせる様は、ここが日常に織り込まれていると同時に一人一人が当事者として関わっていることの表れだと感じた。まさに公民館の、大袈裟に言えば公共建築のあるべき姿。こうした地域の方々の姿勢に応えるべく設計は、誰にとっても親しみのある在来木造を基本としながらも、誰の家にもないようなおらかなさと、光や風が抜ける快適な空間を目指した。「人」の字の形をした屋根架構は、文字通り両側から延びる梁が支え合い、屋根の下に、どんな目的にも使える大広間や水回りなどの下屋、そして災害時や用事がない時でも気軽に立ち寄れる大きな軒下や縁側を擁している。この基本形式を踏襲しながら、地区ごとの使い勝手に寄り添い、また敷地の魅力をより出すよう変形して5つのみんなの家をつくった。実現に向けては、施工者の誠実な取り組みはもちろん、家具やファブリック、様々なメーカーの方々の支援が力になった。これは、みんなで作り上げた家でもある。

●建築家プロフィール

千葉 学 (ちは まなぶ)
1960年東京都生まれ/1985年東京大学建築学卒業/1987年同大学大学院修士課程修了/1993~2001年アトリエ・ワン/2015年アトリエ・ワンパートナー

玉井 洋一 (左) (たまい よういち)
1977年愛知県生まれ/2002年東京工業大学建築学卒業/2004年同大学大学院修士課程修了/1993~アトリエ・ワン/2015年アトリエ・ワンパートナー

貝島 桃代 (中央) (かいじま ももよ)
1969年東京都生まれ/1991年日本女子大学住居学卒業/1992年熊本由緒とアトリエ・ワン共同設立/1994年東京工業大学大学院修士課程修了/2003年~筑波大学准教授/2017年~ETH Zurich Department of Architectural Behavioralogy

塚本 由晴 (右) (つかもと よしはる)
1965年神奈川県生まれ/1987年東京工業大学建築学卒業/1992年貝島桃代とアトリエ・ワン共同設立/1994年東京工業大学大学院博士課程修了/2015年~東京工業大学大学院教授



きたあまぎ
嘉島町北甘木のみんなの家



敷地南側には、皆さんがよくお花見をするという桜や、紅葉の美しいカエデの木があった。その木を残せるように建物を北側に配置し、その木々に向かって開かれた縁側や軒下をつかった。隣に建つ農業倉庫も開放すれば、大きなイベントもできそう。

所在地 / 熊本県上益城郡嘉島町
完成時期 / 2019年6月 建築面積 / 124.51㎡
延べ面積 / 111.89㎡ 施工者 / 有限会社ウエダホーム

かみろっか
嘉島町上六嘉のみんなの家



この地に残っていた石碑や桜の樹など、地区の方々が大切にされていたものを残しつつ、水害のリスクや将来の増築可能性など、長年この地で過ごしてきたからこそわかる地区特有の事情を考慮して、かつての公民館が建っていた擁壁沿いに建物を配置し、敷地に余地を残す計画とした。

所在地 / 熊本県上益城郡嘉島町
完成時期 / 2019年11月 建築面積 / 124.51㎡
延べ面積 / 111.89㎡ 施工者 / 株式会社コーケン

しんごや
大津町新小屋のみんなの家



今回計画した中では最も小さなものだが、南側には公園や、子供たちが通学通園で使うバス停もある。そこに向けて開放的な窓をつくり、また建物正面には、小さいながらも付むことのできる軒下を作った。

所在地 / 熊本県菊池郡大津町
完成時期 / 2019年11月 建築面積 / 52.03㎡
延べ面積 / 37.26㎡ 施工者 / 株式会社モリスデザイン

たかおの
大津町高尾野のみんなの家



桜並木の美しい場所。その桜並木を、大きな広場を介して楽しむことができるように建物を配置した。また大広間の畳スペースは、地区の要望で小上がりのように少し高いレベルに床を設けている。気軽に腰掛けたり、ステージのように使うなど、活動の幅は大きく広がろう。

所在地 / 熊本県菊池郡大津町
完成時期 / 2020年2月 建築面積 / 125.07㎡
延べ面積 / 111.89㎡ 施工者 / 株式会社モリスデザイン

おおぎりはた
西原村大切畑のみんなの家



消防車庫と合築することの特長のある計画。消防車庫と広間の間に軒下をトンネル状に作り、どちらからも使える場にしたい。風景を印象的に切り取ると同時に、消防隊の休憩場所にもつたりと、多様な使い方ができる計画。

所在地 / 熊本県阿蘇郡西原村
完成時期 / 2021年3月 建築面積 / 148.61㎡
延べ面積 / 132.46㎡ 施工者 / 有限会社ウエダホーム
※面積は消防所を含む。



あそうばる
甲佐町麻生原のみんなの家



緑川流域の段丘林に守られた木造民家や石積みが残る集落にあり、小さな神社の参道に面している。参道入口から見ると隣の右側にある軒下空間が住民を出迎えてくれる。1年を通して寄合やふれあい祭りなど多様な行事があることから広間や軒下空間を参道から使えるようにしている。

所在地 / 熊本県上益城郡甲佐町
完成時期 / 2019年12月 建築面積 / 82.40㎡
延べ面積 / 59.60㎡ 施工者 / 宮田建設株式会社

たでのえきく
南阿蘇村立野駅区のみんなの家



大規模斜面崩落で寸断された国道57号と南阿蘇鉄道立野駅間に位置し、村営住宅の隣に建つ。住民から地震時に限らず大雨や台風時に集まって過ごせるように板の間と畳の間の再方が求められた。軒下空間は、東からの「まつぼり風」を除けながら、西に広がる熊本平野を一望できる。

所在地 / 熊本県阿蘇郡南阿蘇村
完成時期 / 2020年4月 建築面積 / 125.50㎡
延べ面積 / 99.40㎡ 施工者 / 株式会社小川工務店

かみあげ
大津町上揚のみんなの家



阿蘇外輪山の山裾と白川に挟まれ、中央を県道145号が走る線状集落にある。道路より一段低い敷地であったため、歩行者や電動カート利用者に配慮し、道路と軒下空間をブリッジでつなげた。障子があり落ち着いた雰囲気のある広間からは背後に広がる田園地帯が見える。みんなの家と既存倉庫との間には、熊本城の破損瓦を再利用した通路を整備した。

所在地 / 熊本県菊池郡大津町
完成時期 / 2021年3月 建築面積 / 44.69㎡
延べ面積 / 36.43㎡ 施工者 / 株式会社小川工務店

かざあて
西原村風当のみんなの家



俵山の西にある大峯の山裾の斜面集落で、高台から平野が見渡せる眺望の良い公園に面している。また、集落は県道28号沿いにあり交通の便が良いことから子育て世代の家族が多い。みんなの家には彼らの要望であった広間と一体的に使えるキッチンや公園利用者が使える屋外トイレを整備した。

所在地 / 熊本県阿蘇郡西原村
完成時期 / 2021年3月 建築面積 / 83.70㎡
延べ面積 / 59.60㎡ 施工者 / 宮田建設株式会社
※面積は埋戻分を含む。

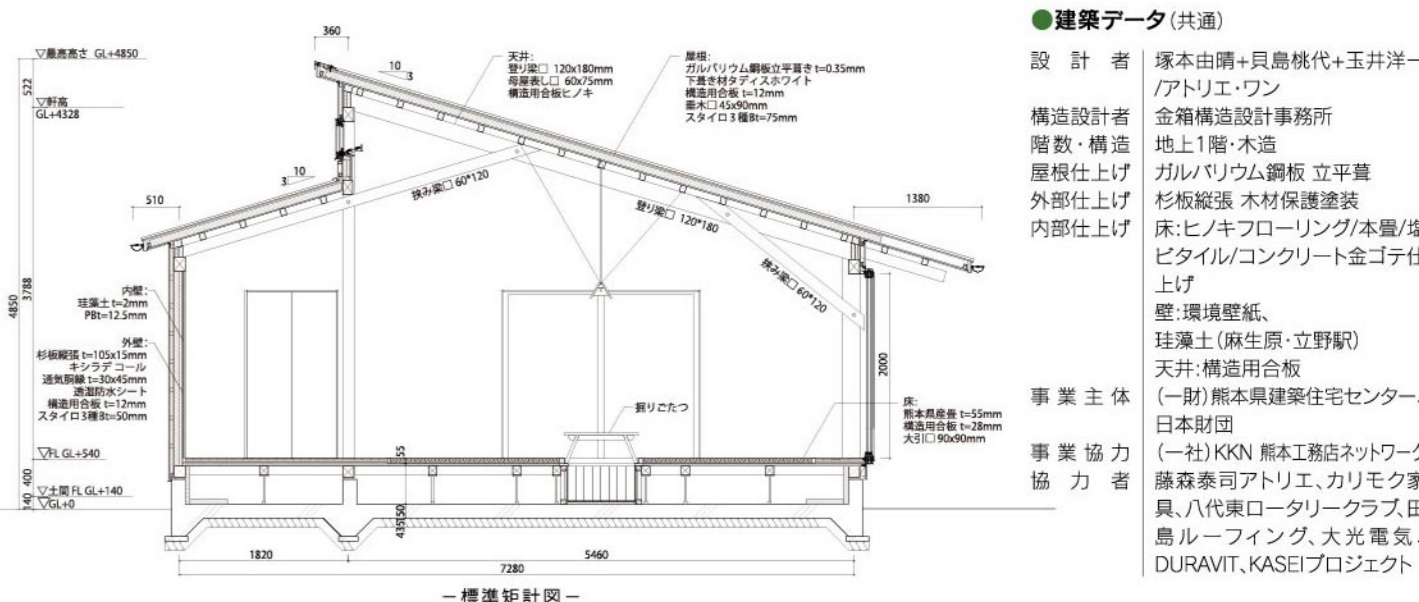
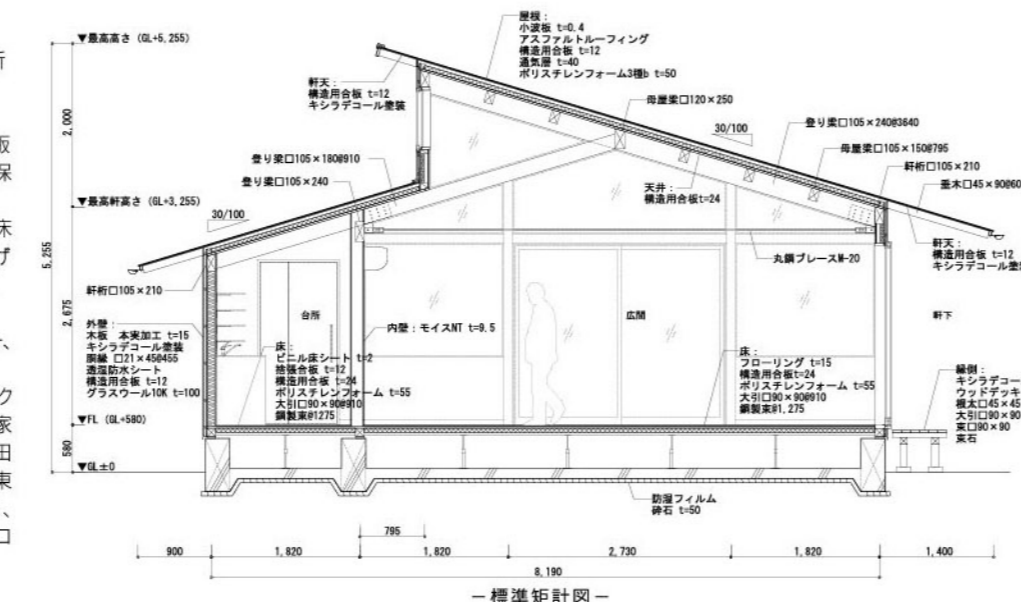
しもごもり
西原村下小森のみんなの家



消防詰所との合築が求められた。道路側にポンプ車庫と消防詰所、公園側にみんなの家の家を配置し、両方から使える軒下空間を挟んで南側の広場に対して「へ」の字になるように連結した。公園は保育園の散歩道にもなることから、道路から公園まで軒下を歩けるようにするとともに、軒下空間には屋外トイレや手洗い場を設けた。

所在地 / 熊本県阿蘇郡西原村
完成時期 / 2021年4月 建築面積 / 189.90㎡
延べ面積 / 149.10㎡ 施工者 / 宮田建設株式会社
※面積は消防詰所を含む。

- 建築データ(共通)
- 設計者 千葉学/千葉学建築計画事務所
構造設計者 平岩構造計画
階数・構造 地上1階・木造
屋根仕上げ ガルバリウム鋼板 立平葺、小波板
外部仕上げ 木板(杉) 本実加工 木材保護塗装
内部仕上げ 床:フローリング/本量/ビニル床シート/コンクリート金ゴテ仕上げ
壁:多機能ケイ酸カルシウム板
天井:構造用合板化粧用
事業主体 (一財)熊本県建築住宅センター、日本財団
事業協力者 (一社)KKN 熊本工務店ネットワーク
藤森泰司アトリエ、カリモク家具、八代東ロータリークラブ、田島ルーフィング、大光電気、安東陽子デザイン、アイカ工業、DURAVIT、GROHE、KASEIプロジェクト



- 建築データ(共通)
- 設計者 塚本由晴+貝島桃代+玉井洋一/アトリエ・ワン
構造設計者 金箱構造設計事務所
階数・構造 地上1階・木造
屋根仕上げ ガルバリウム鋼板 立平葺
外部仕上げ 杉板縦張 木材保護塗装
内部仕上げ ビタイル/コンクリート金ゴテ仕上げ
壁:環境壁紙、珪藻土(麻生原・立野駅)
天井:構造用合板
事業主体 (一財)熊本県建築住宅センター、日本財団
事業協力者 (一社)KKN 熊本工務店ネットワーク
藤森泰司アトリエ、カリモク家具、八代東ロータリークラブ、田島ルーフィング、大光電気、DURAVIT、KASEIプロジェクト

PHOTO(北甘木、上六嘉、新小屋、高尾野、大切畑)/Vincent hecht